2023年RDUF公開シンポジウムライトニングトーク 2023年12月4日(月)

研究データにDOI付与を希望しない理由は何か

一機関リポジトリでの研究データ登録を通しての考察ー

国立研究開発法人国立環境研究所環境情報部

サブジェクト・ライブラリアン

尾鷲 瑞穂 (Mizuho OWASHI)



トーク5分の内容



Ⅰ 国立環境研究所 (NIES) における 研究データへのDOI付与の方法

2 「DOIを付与しますか」

→特に希望しない理由は何か。

3 何を伝えると効果的?



NIESでの研究データへの DOI付与

NIESでの研究データへのDOI付与



2つのルート

JaLCの正会員



- ○データ公開依頼者データを所内サーバにリポジットして、XMLファイル(ランディングページ 用)を作成し、環境情報部に送る。
- ○環境情報部 XMLファイルからランディングペー ジを作成→JaLCのシステムからDOI 登録。

- ○メタデータ記述の自由度が高い
- ○XMLファイル作成等、初めての依頼 するには少々ハードルが高い

JaLCの準会員



- ○データ公開依頼者 メタデータを所定のExcelファイルに 記入して、データファイルと一緒に 環境情報部に送る。
- ○環境情報部 機関リポジトリ(JAIRO CLOUD)に リポジットして公開→DOI登録



- 〇小さなデータでも依頼できる
- ○諸々の仕様はリポジトリシステムに 依存

NIES Repositoryについて



研究所の学術情報(論文や報告書等)を公開するための支援として、 2021年度より機関リポジトリ(JAIRO CLOUD)の運用開始。



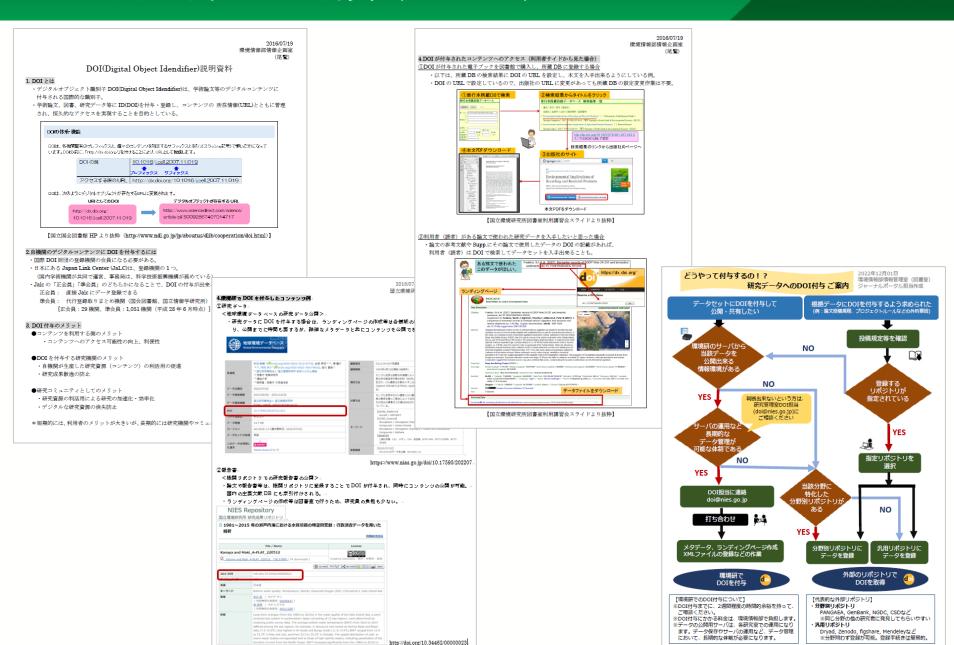
- 〇論文や報告書等文献の コンテンツ
 - →2021年5月より登録開始

WEKO2からWEKO3に 先行移行

- ○研究データ等文献以外の
 - コンテンツ
 - →2022年11月より登録開始

DOI付与に関する説明資料は色々作りましたが・・・





なぜか最初は希望しないと言われる



DOIの付与はしますか?



特に希望しません

「付与したくない」ではなく 「希望しない」と言われる



この点を、詳しくヒアリングすることにしました。

「DOIを付与しますか」

→特に希望しない理由は何か

何かを急いでいる「時間がない」







- ○少しでも早くコンテンツを公開したい
- 〇少しでも早くURLを取得して論文執筆をすすめたい
- 〇(リポジトリ担当者が)忙しそう

- お気遣いはありがたいですが…

特別な何かが必要だと思っている







- ○何か特別な作業が必要だと思っている
- ○特別なデータしか付与できないと思っている
- ODOIは論文に付与されるものと思っている

研究データにDOIを付与するメリットを感じられない W







- 〇投稿予定の学術誌でDOI付与を求められてない
- ○機関リポジトリのハンドルURLで十分だと 思っている(公開できればOK)
- 〇.orgURLに対する不信感

何を伝えると効果的?

急いでいるという理由は画一的ではない



公開を急いでいるのか有効なURLを取得することを急いでいるのか

- ◆DOI付与の作業工程に要する時間を記録しておく
 - -データの公開からDOI付与までに要するタイムラグがあるか
 - -DOIのURLが有効になるまでにどのくらい時間がかかるか (DOIのURLが有効になるまでの時間を気にする人は多いよう)

付与のために労力を割く時間がない

- ◆DOI付与に要する労力を伝える
 - -公開と同時にDOIの付与も可能であることを伝える
 - -NIESの場合、メタデータの提出さえできれば、DOI付与にかかる利用者の負担は殆どないため、そのことを話すだけてきに検討してもらえた。



特別な何かが必要だと思っている方には…



- ◆DOIの本来の役割を伝える
 - -DOIは、データ・情報に人々が容易にアクセスしやすくなる環境を 構築するためのものであることをわかりやすく解説する
- ◆大きなプロジェクトのデータでなくてもよいことを伝える
 - -小さなデータであっても、論文等の根拠となるオリジナルのデータで あれば付与できる
 - -付与によって、データの存在を示すものであることを伝える
- ◆DOI付与の範囲の広さを知ってもらう
 - -論文等文献に付与されるものと思っている人はまだ多いよう

特別なものだけに付与するのではなく 付与したことが特別なことだと意識してもらうようにした



DOI付与のメリットを知ってもらうには・・・

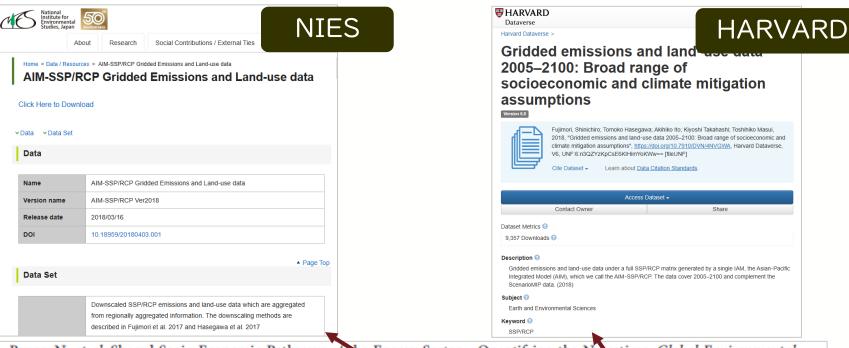


- ◆予定している投稿誌の執筆要綱でマストになっていなければ、 意識が向きにくい
 - -メジャーな外国雑誌ではDOI付与をして根拠データを公開することが、
 - 一般的になりつつあることを(口頭だけでなく)事例を見せて説明
- ◆DOIの機能はハンドルシステムだけではないことを伝える
 - -機関リポジトリのハンドルはURLのみ
 - -DOIはIDとして記載できる(引用が容易になるメリット)

- ◆.orgURLに対する不信感
 - -こればかりは、丁寧に説明して不信感を払拭してもらうしかない₍というより私にとっては盲点でした)

実際に引用している論文を見せるのは有効





- Bauer, N. et al. Shared Socio-Economic Pathways of the Energy Sector Quantifying the Navatives. Global Environmental Change 42, 316–330, https://doi.org/10.1016/j.gloenvcha.2016.07.006 (2017).
- Popp, A. et al. Land-use futures in the shared socio-economic pathways. Global Environmental Change 42, 331–345, https://doi.org/10.1016/j.gloenvcha.2016.10.002 (2017).
- Rao, S. et al. Future air pollution in the Shared Socio-economic Pathways. Global Environmental Change 42, 346–358, https://doi.org/10.1016/j.gloenvcha.2016.05.012 (2017).

Data Citations

- 1. Fujimori, S., Hasegawa, T., Ito, A., Takahashi, K. & Masui, T. Harvard Dataverse, https://doi.org/10.7910/DVN/4NVGWA (2018).
- Fujimori, S., Hasegawa, T., Ito, A., Takahashi, K. & Masui, T. NIES Global Environment Database, https://doi.org/10.1895/9/20180403.001 (2018).

Fujimori, S., Hasegawa, T., Ito, A. et al. Gridded emissions and land-use data for 2005-2100 under diverse socioeconomic and climate mitigation scenarios. Sci Data 5, 180210 (2018). https://doi.org/10.1038/sdata.2018.210

それでもDOIを付与しなかったのは…



- ◆データファイルを他所にリポジットすることになっている (リポジトリにはメタデータのみ登録することにした)
- ◆共同研究者と相談したい(法的に著作権と同様に許諾が必要というわけではないが 共同研究者との人間関係上承諾を得ておきたい)





DOI付与を実施している機関だけでなく 研究コミュニティ全体で推進していく必要があるのかも

ご清聴 ありがとうございました

